

と、今回発見した生息地は30年ほど以前に水田耕作を止めた直後に一度重機を入れたことがあるが、それ以後はまったくそのようなことはないという。この個体群は、その際に、他所(体色変異などの共通性から、能登半島の可能性が高い)から移住した可能性が考えられる。もしも、相当に古い時代に移住し、安定的に生存を続けてきた個体群であれば、能登半島におけるように、近隣に類似の環境が連続して見られる場所も少なくないことから、長い年月の間に徐々に生息地を拡大してきていたはずであると考えられるからである。筆者は、今回の発見を機に、周辺地域を改めてかなり徹底的に調査したが、類似の環境が隣接する地域にも多く存在するにもかかわらず、これまでのところ他の生息地は発見できていない。

引用文献

- 秋田勝己, 2006. オオルリハムシ. 三重県環境森林部自然環境室編『三重県レッドデータブック 2005 動物』(498 pp.) (ref. p. 212). (財)三重県環境保全事業団, 津.
- 藤塚治義・中野雅子・佐藤俊男, 2002. 新潟県, 特に上越地方におけるオオルリハムシの分布の現状(予報). 柏崎市立博物館館報, (16):67-70.
- 福井県博物館編, 1938. 『原色福井県昆虫図譜』. 42 pp., 75 pls. 福井県.
- 井村正行・西原昇吾, 1997. オオルリハムシの記録. 翔(TOBU), (126): 5.
- 岩井大輔・八木 剛, 2003. 日本におけるオオルリハムシの地理的分布. Jpn. J. Ent. (N.S.), 6: 105-110. (In Jpn. with Engl. abstract)
- 川瀬英夫, 2004. オオルリハムシの追加記録. とっくりばち(石川むしの会会報), (72): 29.
- 川瀬英夫, 2012. 中能登町でオオルリハムシを採集. とっくりばち, (80): 33.
- 宮田 彬, 2003. オオルリハムシ大分県久重町に産す. 月刊むし, (394): 4-5.
- 中村芳樹・辻 孝幸, 2008. 山梨県富士河口湖町にてオオルリハムシを採集. 月刊むし, (454): 2.
- 大橋広好・門田裕一・邑田 仁・米倉浩司/木原浩編, 2017. 『改訂新版 日本の野生植物 5 ヒルガオ科~スイカズラ科』 472 pp. + 284 col. pls. 平凡社, 東京.
- 大宮 正太郎, 2011. オオルリハムシ *Chrysolina virgata* (Motschulsky) の累代飼育について. とっくりばち, (79): 32-33.
- 大宮正太郎, 2013. 七尾市中島町須久保地区で採集された昆虫類. とっくりばち, (81): 46-49.
- 斎藤昌弘, 2008. 福井県産オオルリハムシ標本の正体. 甲虫ニュース, (164): 9-10.
- 多比良嘉晃, 2004. オオルリハムシ. 静岡県自然環境調査委員会編『まもりたい静岡県の野生生物—県版レッドデータブック—<動物編>』351 pp. (ref. p. 218). 羽衣出版有限公司, 静岡市.
- 高橋栄作・佐々木里実, 2016. 石川県能登島でオオルリハムシを採集. 月刊むし, (550): 11-12.
- 武藤 明, 2011. 石川県の昆虫9種についての知見(2011). とっくりばち, (79): 22.
- 田中 馨・椋木博昭・安田正利, 2002. オオルリハムシ. 山口県環境生活部自然保護課編『レッドデータブックやまぐち—山口県の絶滅のおそれのある野生生物—』513 pp. (Ref. p. 213). 山口市.

(2017年11月21日受領, 2017年12月4日受理)

【短報】オサムシタケに寄生されたコクワガタの記録

オサムシタケ *Tilachliopsis nigra* は、その名前が示すように、アオオサムシ、ヤコンオサムシ、マヤサンオサムシ、マイマイカブリなどのオサムシ類の成虫や幼虫に寄生する冬虫夏草であるが、これまで、クワガタムシ科甲虫 (Lucanidae;



図1. オサムシタケに寄生されたコクワガタの雌成虫.

Coleoptera) がオサムシタケの寄主となる例は報告されていない(日本冬虫夏草の会, 2014). 今回、筆者らは静岡県伊豆市にてオサムシタケに寄生されたコクワガタ *Dorcus rectus* の雌成虫(図1)を採集したので、ここに記録する。

1♀, 静岡県伊豆市地藏堂, 24. VIII. 2017 木川採集・宮尾保存.

記録にあたり、冬虫夏草の種を同定していただいた国立科学博物館の細谷剛氏に深くお礼申し上げます。

引用文献

- 日本冬虫夏草の会, 2014. 冬虫夏草生態図鑑. 303 pp., 誠文堂新光社.

(宮尾真矢・木川康彦 412-0026 御殿場市東田中 1795-2)